

月形町の地域公共交通体系

1 地域における公共交通の現状

交通機関	運行事業者	区 間	運行本数	主な利用者	輸送人員	備 考
J R	札沼線	月形駅⇔当別方面	上下 15 本	札幌方面への大学生等 10 人弱 月形高校生 20 人		
		月形駅⇔浦臼方面	上下 12 本	月形高校生 6 人		
バス	中央バス	月形駅⇔岩見沢 T	8.5 往復 (土日 8 往復)	岩見沢市内高校生 39 人	㊤71,838 人	町が 283 千円補助
	新篠津村営バス	新篠津⇔月形	上下 3 本	月形高校生 6 人		町が 750 千円補助
	月形町(スクールバス)	北地区 南地区 A 南地区 B	各地区とも 登校 1 便 下校 3 便	北地区 22 人 南地区 A 14 人 南地区 B 15 人		住民混乗可
ハイヤー	はーとハイヤー			高齢者		町が 2,500 千円補助 昼間 3 台 夜間 1 台
福祉有償運送	月形町社会福祉協議会 友朋の丘			障害者登録 119 人	㊤557 人	3 台
				障害者登録 308 人	㊤308 人	4 台

※ぬくもり福祉券～高齢者等に温泉、ハイヤー、配食、除雪に使える助成券 10,000 円を交付

2 住民の生活状況並びに地域公共交通の課題及び問題点

(1) J R

石狩当別駅での待ち時間が約 40 分要する便があり、またダイヤ設定が出張や買い物等で生活利用するには不便な状況

(2) 町内公共交通

スクールバスは、町内一円を運行しており住民混乗も可としているが、登校時 1 便、下校時 3 便しかなく、生活利用するには極めて不便な状況 (増便すると学校での利用に支障を来す)